

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題ラウリン酸のヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験試験番号

NMMP/E99/4150

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.203「魚類毒性試験」(1992年)に準拠して実施した。

被験物質	: ラウリン酸
方式	: 半止水式(24時間換水)
供試生物	: ヒメダカ (<i>Oryzias latipes</i>)
試験濃度	: 対照区、助剤対照区および1.0mg/L、1.7mg/L、3.1mg/L、5.6mg/L および 10.0mg/L(設定濃度)
曝露期間	: 96 時間
試験液量	: 3.0L
生物数	: 10 尾/濃度区
照明	: 室内光、16 時間明/8 時間暗
エアレーション	: なし
温度	: 24±1℃

結 果

試験の結果、ラウリン酸の実測濃度の幾何平均値に基づく96時間の半数致死濃度(LC50)は5.0mg/Lであり、その95%信頼区間は3.7mg/L～7.3mg/Lであった。